

四月の柔らかな光につつまれ、まさに万物が生きる喜びに輝く季節。ここ千里高校も新緑の生気に満ちあふれております。

本日ここに、大阪府立千里高等学校第五十一回入学式を挙行いたしましたところ、大阪府教育委員会 代表 辻川 義弘様、大阪府議会議員 三浦 とし子様、本校PTA会長 砂田 信吾様、本校後援会、PTA役員の皆様を始めとすご来賓の方々、並びに多くの保護者の皆様のご列席を賜り、高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました三百二十名の新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんの入学を心から祝福し、歓迎いたします。「ようこそ、千里高校へ」

さて本校は、1967年に、普通科高校としてスタートして以来、文・理両方の基礎学力を伸ばし、創造力を最大限活かすよう努めるとともに、常に「時代を先駆けるパイロット校」「時代の一步先を行く学校」として発展してきました。

その後、1990年には、国際教養科を併置し、国際化・情報化に主体的に対応できる人材の育成に取り組まれました。そして2005年には、現在の姿である国際文化科と総合科学科より構成される専門高校 国際・科学高校に改編されました。

その間、様々な国や府の研究指定を受け、その時々々の教育課題に対応する指導法の開発等に取り組んでまいりました。例えば、2002年には、「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール」の研究指定を受け、「国際人に求められるハイレベルなコミュニケーション能力の育成」を目的とする研究を行い、効果的な指導法を開発し、現在まで継承し、更新と改善に努めています。2010年には、「スーパー・サイエンス・ハイスクール」の研究指定を受け、「将来、科学・技術の幅広い分野で国際的に活躍できる人材の育成」を目的とする研究を行い、科学への興味・関心を高め、自ら科学的に探究する力の向上に努めてまいりました。2015年には、「スーパー・グローバル・ハイスクール」の研究指定を受け、「グローバル・マネジメント力を備えたリーダーの育成」を目的として、高い社会貢献意識、国際的課題についての深い理解、コミュニケーション力としての英語力、そして、国際的課題について他者と連携・協調しながら探究することができるマネジメント力を向上させるための指導法の開発に、現在取り組んでいます。同じく2015年には、「骨太の英語力養成事業」の研究指定を受け、TOEFL iBTテストの内容を取り扱った授業を導入し、英語によって海外の高等教育機関で学ぶことのできるレベルの習得をめざしています。そして2017年、再び「スーパー・サイエンス・ハイスクール」の研究指定を受けました。第一期の成果を活かしつつ、「グローバルな課題を解決する21世紀型科学者の育成プログラム」の開発をめざし、今後、様々な取組みを進めてまいります。

本校は、質の高い授業、行事・部活動等自主活動の重視に加え、こういった研究指定を通じ、次の4点の学習機会を充実させるよう努めています。

一つめは、科学分野での実験・実習、言語分野での体験学習、両分野における校内外における研修をできるだけ多く実施すること。

二つめは、ICT機器を活用する力とコミュニケーション能力を高めること。

三つめは、授業等においてプレゼンテーションの機会を多く設け、効果的な発表に求められる知識・スキル、他者を説得する力や、他者と交渉し創造的に問題を解決する力を育成すること。

四つめは、大学、研究機関等と連携して先進的指導法を開発し、実践すること、です。

これらは、皆さんがそれぞれの夢と志を育み、本校卒業後の研究や様々な活動において生きて働く大切な力を培うためになくてはならないものです。

さて、新入生の皆さん、今日から千里高校生としての生活が始まります。高校生活は、長い人生の中

ではわずかに3年間。しかし、皆さんの心も体も、大きく成長していく最も大切な時期です。本校での生活を始めるにあたって、ぜひ次の3つのCを実行してもらいたいと思っております。3つのCとは、CHALLENGE、COMMUNICATION、そしてCONTROLの3つのことです。

まずCHALLENGEとは、高校生活への挑戦です。中学生気分から脱皮して、高校生として勉強に部活動にチャレンジしてください…。皆さんは今の自分に妥協することなく、ぜひ大きな夢、高い志を持ち、その夢の実現に向け、果敢に挑戦し、日々成長を続けて欲しいと思います。夢や希望は待っていても、皆さんの前には現れません。自ら求めなければなりません。「もともと地上には道はない。歩く人が多くなれば、それが道になる。」中国の文学者、魯迅の言葉です。皆さんもいろんな事に挑戦し、「道」を切り拓いて欲しいと思います。

次に、COMMUNICATIONです。学校の一つの特徴は、集団で学ぶ場であるということです。先輩や後輩、友達や先生など、多くの人がいて、そうした人々と共に、様々な知識や技能を身につけ、自らを高めていく場が学校です。「人間は社会的動物である」と言われるように、一人では決して強くない私たち人間は、他の人と協力し、集団を形成することで、社会を発展させてきました。そのときに必要なのが、コミュニケーションです。互いの立場や考えを尊重しつつ、自分の言葉で考えを述べたり、相手の考えを受け入れたりしながら、分かり合うことです。

集団は、他の人と競い合うためにあるものではありません。互いに高め合うためにあるのです。いい集団は、そこに所属する一人ひとりの力を伸ばします。個人のために集団があり、いい集団を作るために、個人の力が必要となります。千里高校は、互いに協力し合い、高め合うことで、一人ひとりの力を伸ばせる「いい集団」でありたいと願っています。

でも集団には、いろんなメンバーがいます。意見が対立し、感情が高ぶって、言葉や態度で、相手を傷つけたり、自分が傷ついたりすることもあるでしょう。そうならないために必要なのが、最後のC、CONTROLです。時には自分の感情を抑え、待つこと、耐えることも必要です。この待つ、耐えるというのは、高等動物の高等な精神活動です。人間も赤ちゃんのときは、おなかをすけばすぐに泣き、思うようにいかなければ駄々をこねます。でも皆さんは、もう高校生です。しっかりと、自分をCONTROLしてください。そして、CONTROLが難しく、ちょっと心や体がしんどいな、話を聞いてほしいなと思ったら、遠慮なく私たちに相談してください。私たちも声をかけていきたいと思っています。

3月18日の合格者説明会でも申しましたが、私は、皆さんが一生懸命書いてくれた「自己申告書」を読ませていただきました。そこには、中学校時代をはじめ、今までに頑張ったことや苦勞したこと、例えば学習のこと、部活動や委員会活動のこと、そして将来の夢のこと、千里高校で頑張りたいことなどを、しっかり書いてくれていて、とても頼もしく思いました。新入生の皆さん、自己申告書に書いてくれたこと、そして今日のこのワクワクを、決して忘れることなく、千里高校で学ぶことに誇りと自信をもって、様々なことに積極的に取り組んでください。私たちも全力でサポートします。皆さんが、この千里高校で充実した高校生活を送ってくれること、そして「千里高校に入ってよかった」と、いつまでも思ってくれることを願っています。

結びにあたり、保護者の皆様、改めてお子さまのご入学を心よりお祝い申し上げます。私たち教職員一同、お預かりした大切な大切な、お子さま一人ひとりの夢の実現に向け、全力を尽くして教育に取り組む所存でございます。各家庭におかれましても、本校の教育方針にご理解を賜り、ご協力いただきますようお願い申し上げます。またお気軽に学校にお越しいただき、PTA活動や学校行事にも積極的なご参加をお願いいたします。

最後に、ご多用中にもかかわらず、ご臨席いただきましたご来賓の皆様におかれましては、本校

が今後益々発展充実していくことができますよう、ご指導、ご支援をお願いいたしまして、私の式辞といたします。

平成二十九年四月四日 大阪府立千里高等学校長 松本 透